

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
72	椅子	椅子に深く腰掛けたら、背もたれの支持部が折れて、後ろにひっくり返った。危険なので支持部が破損した原因を調べてほしい。	苦情品は、座面及び背もたれ部からの不規則な強さの繰り返し応力により、最終的に破断に至ったと考えられる。購入から約1年半という短期間で破断に至った原因は、応力が集中する位置に扁平パイプ製造時のビード（鋼板からパイプを造る際、突き合わせ部を溶接した部分）があったこと、受け板の溶接が不適切であったこと、扁平パイプと受け板溶接時のビードの硬度差が大きかったことなど、複数の要因が考えられた。
73	乳幼児用ハイチェア	1歳10カ月の幼児が乳幼児用ハイチェアに座っていたところ、足でダイニングテーブルを蹴り転倒し負傷した。転倒しやすいか調べてほしい。	苦情品についてSG認定基準で後方安定性を調べた結果、基準値の20度で転倒することではなく、転倒しやすいとは言えなかった。
74	ソファ	6年前に購入したソファの背もたれから棒状の物が飛び出し、子どもがけがをした。棒状の物が飛び出した原因を調べてほしい。	丸棒の突き出た経緯は、何も負荷がない状態から、苦情品に座ると、内部にある丸棒が背面方向に押されてしなり、丸棒の左右の先端により布が擦られ、それを繰り返していくうちに、丸棒を通すための布の正面右側が破けて、正面左側の丸棒を固定するための紐が外れ、破けた方向に丸棒が徐々に移動して、合皮を突き破って突き出たものと推察される。原因としては、丸棒の先端にバリがあったことや、丸棒を通すための布の端が強度不足であったことなどが考えられるが特定には至らなかった。
75	ベッド	納品された10日後に、ベッドの木材から虫が発生したという申し出があった。ベッドの木材に虫（キクイムシ）が生息していた痕跡があるかどうか調べてほしい。	苦情品にはナガキクイムシ科の一種と推定される虫が生息していたと考えられた。また、納品から苦情発生までの期間、苦情品の穴の状態、ナガキクイムシ科が、木材の内部で幼虫から成虫となり脱出する際に、木材に穴を開けて飛び出す習性があることを踏まえると、虫は納品前から苦情品に侵入していたものと考えられた。
76	ベッドパッド	就寝中にベッドパッドが滑りベッドから落ちて頭をけがした。ベッドパッドが滑りやすいか調べてほしい。	苦情品及び苦情同型品は、同様の構造である参考品とは大差なかったが、構造の異なる参考品と比較して滑りやすかった。しかし、苦情品及び苦情同型品は、マットレスにゴムベルトで固定した状態では寝返りをうった際に大きくずれることはなく、特に滑りやすい商品とは考えられなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
77	羽根枕	睡眠時に羽根枕を使用していたところ、枕から出てきた羽根で顔面に切り傷ができた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品のがわ生地を開いたところ、内層から吹き出しているフェザーが多数観察され、中層の不織布に付着、侵入していた。中層を通過したフェザーは通気性の良い、外層を通過しやすいと考えられた。中身のフェザーに関しては、吹き出しやすい先の尖った尖軸フェザーや、先端部が外れて尖軸フェザーを生じやすい未熟フェザーも含まれていたため、枕を使用していくうちに尖軸フェザーが増加して、更に吹き出してくるおそれもあった。なお、枕から吹き出していたフェザーはいずれも尖軸フェザーであった。
78	こたつ掛け布団	こたつ掛け布団の端を踏んだところ、滑って転倒し負傷した。商品に問題がないか調べてほしい。	滑りやすさに規格や基準値はなく、注意事項には転倒に関する記載もあったが、苦情同型品は参考品と比較すると踏んだとき滑りやすいと言える。
79	こたつ敷布団	購入したこたつ敷布団を広げたところ、毛抜けが激しくほこりとなり、衣類についたり、子どもがくしゃみをしたため、使用できなかった。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品及び苦情同型品では相談者が回収したという繊維のような細かなものは確認できなかった。苦情品はカットパイルタイプの敷物であり、相談者が回収したものは非常に短く、苦情品と同じ繊維と考えられることから、製造時のシャーリング工程において切り取られた細かな繊維が残っていた可能性が考えられた。
80	テレビ台	組み立て式のテレビ台のガラス扉を子どもが閉めようとしたところ、ガラスを留めているプラスチック製製品の1つが壊れてガラスがぶら下がったようになり、顔にけがをし、床にも傷がついた。原因を調べてほしい。	苦情品は使用の過程でストッパーがレールの端の位置にずれ、引き戸が上辺のみで吊るされている状態のときに、引き戸が前後に振れることで付属部品4個にひび割れが生じ、そのうちの1個が破断に至ったと推察される。苦情同型品においても、引き戸の開閉によってストッパーが外側にずれ、引き戸が外れる危険性が確認された。
81	カーテン	断熱用のカーテンを購入し取り付けしたところ、臭いがひどく体調不良になった。臭いの原因を調べてほしい。	苦情品及び苦情同型品から、主にフェノール、2-エチルヘキサノールの他、脂肪族炭化水素類、脂肪族アルデヒド類と推定される揮発性物質が検出された。これらの物質は、ポリ塩化ビニル製品から発生する揮発性物質として既にいくつかの報告がされている成分で、臭いを有する物質であることから、これらが混合したものが苦情品の臭いの原因であると考えられた。
82	カーペット	購入したカーペットのにおいがひどく、多量の黒い繊維状の毛ぼこりが出る。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品のにおいについては、開梱してから時間が経過して抜けてしまったためか、強いものではなかった。また、遊び毛の量については、比較的多かったものの、公的な規格や基準はなく、苦情品に問題があるかどうかの判断はできなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
83	電球形LEDランプ	電球を6個使用するシャンデリアの電球が1個切れたので、長寿命をうたった電球形LEDランプに交換したところ、1年数カ月で切れてしまった。電球形LEDランプが切れた原因を調べてほしい。	苦情品は「切れた」という申し出内容と異なっていたが、点滅を繰り返した後、点灯するなど不安定な状態が確認された。不安定な状態になった原因はLEDではなく、LEDに電力を供給する電源基板の制御不良によるものであった。
84	電球形LEDランプ	シャンデリアに取り付けた電球形LEDランプが突然破裂した。危険なので破裂した原因を調べてほしい。	苦情品が破裂した痕跡は確認できず、破裂音は、苦情品のグローブが落下した際にシャンデリアや床などにぶつかった音と推察された。苦情品のグローブの落下は、接着に使われていた接着剤が熱や光などが複合的に作用し、劣化したためと推察された。
85	クリップライト	購入したクリップライトに付属の電池を入れスイッチをONにしたところ発煙した。発煙した原因を調べてほしい。	苦情品が発煙した原因は、組み立て時に配線ケーブルが挟み込まれて基板の上のはんだと配線ケーブルが短絡したことにより、電池収納部分のプラス端子とマイナス端子の間が短絡に近い状態となり、抵抗が異常過熱したためと考えられる。なお、単4電池を入れたまま、同時に、USBケーブルから電源を加えた場合は単4電池へ充電が行われてしまい、電池の異常発熱や破裂のおそれがあるが、取扱説明書に電源の同時使用を禁止する旨の記載はなかった。
86	センサーライト	センサーが人を感知し点灯するセンサーライトを駐車場に設置していた。感知範囲の表示と実際が異なるので調べてほしい。	苦情品について、センサー感知範囲の表示と実際の感知範囲に差異があることが明らかになった。苦情品は苦情同型品と比較しても極端に感知距離が短いことから、苦情品には何らかの不具合があったものと考えられた。
87	手回しランタン	手回しで発電して使用できるランタンを購入した。最初の2、3回は使用できたが、1カ月後にハンドルを回してみたが、明かりは薄暗く、回すのをやめると消えてしまう。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は内部の充電式電池が液漏れしていた。苦情同型品では液漏れは発生しなかったが、内部の電池は初期電圧及び内部の構造から、充電を行わないことを前提とした一次電池のアルカリマンガン乾電池と推察され、手回し充電により破裂や液漏れ等の危険があると言える。さらに、乾電池ボックスは寸法が不適切かつ配線不良で正常に使用できないことから問題であった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
88	家庭用除湿剤	押し入れに入れていた家庭用除湿剤が液漏れし、布団などが濡れた。原因を調べてほしい。	苦情同型品は JIS で定められた強度を有していた。また、使用終了状態での落下衝撃試験で、ひび割れの起因となる白化が確認されたことから、苦情品についても取り扱いの過程で外部から何らかの強い衝撃が加わったことにより容器がひび割れ、液漏れが生じたものと考えられる。
89	家庭用除湿剤	押し入れに家庭用除湿剤を置いていたら、容器の角から液漏れしていた。原因を調べてほしい。	苦情同型品の容器は JIS で定められた強度を有していた。また、容器の角についても一定の耐衝撃性及び耐摩耗性を有していた。 苦情品については、容器の内側への凹みと擦ったような痕が確認されたことから、表面が粗いものと接触しながら引き擦られるなどしたことにより、容器が破損し液漏れが生じたものと考えられるが、いつの段階で容器が破損したかは不明である。
90	温湿度計	温湿度計を購入したが約 1 年で異常値を示すようになった。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は使用過程において何らかの原因により台座のズレやセンサーのゼンマイ形状に伸縮不具合が生じ、観測値が異常になったものと考えられる。原因が製品起因によるものか使用方法等に起因するのかは特定できなかったが、衝撃テストを実施した結果、観測値にズレが生じることを確認した。
91	塗料	壁のビニールクロスに外国製の漆喰調の塗料を塗装したところ、異臭がした。異臭の原因を調べてほしい。	苦情品をビニールクロスに塗布した際には、新たに発生したホルムアルデヒドやアルコール類などの揮発性物質が複数検出され、室内にはそれらの混合臭があったと考えられた。これらの揮発性物質は、吸入すると、めまい、頭痛、咽頭痛やアレルギーなどの健康に影響を及ぼす場合があるため、十分換気をする等の注意が必要である。
92	シリコーンスプレー	シリコーンスプレーを素手で使ったら噴霧用ボタンを押した右手人指し指が凍傷のようになった。噴霧用ボタンから液漏れがないか調べてほしい。	通常の使用方法で噴霧しても液漏れすることはないが、本体を真横に倒して噴霧したり、噴射口に指がかかる持ち方で噴霧したりすると、噴霧用ボタン上面は液漏れすることがわかった。液漏れや凍傷防止のためには真横に倒して噴霧しないよう気をつけたり、取扱説明書に従って手袋を着用したりする必要がある。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
93	チェーンソー用 オイル	チェーンソーに水で希釈できるオイルを入れて3カ月程使用したところ、オイルタンクに穴が開いた。原因を調べてほしい。	オイルタンクの外部表面には著しい腐食があったものの、実使用試験ではオイルタンクの外部、内部表面ともに焼き付きや腐食は見られなかった。テストの結果、オイルタンクに穴が開いたことと、苦情品を使用したことには因果関係は認められず、マグネシウム合金が経年の使用の中で何らかの要因で外部から腐食し、穴が開いたものと推測される。
94	エンジン式チェーンソー	ネットオークションで落札したエンジン式チェーンソーを組み立てて使用したところ、エンジンが作動しなかった。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品の燃料タンクに入っていた混合ガソリンを抜き取り、チェーンの張りを適正に調整してから、新たにガソリンを苦情品の燃料タンクに入れた結果、エンジンが始動した。エンジンの始動ができなかった原因は、混合ガソリンの状態が良好でなかったためと考えられた。
95	発電機	震災後に購入した発電機のガソリンタンクの溶接部分からガソリンが漏れてきた。危険なので商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品溶接部からガソリンが漏れることを確認した。漏れが広範囲にわたっていることから、ガソリンタンクを製造した際の電気溶接の不良と推察される。タンクを立てるといった特異な状況下では、残量計の縁からの漏れも確認されており、苦情品は気密性に問題があった。
96	生ゴミ処理機	屋外で使用できるという遠赤外線ヒーター付の生ゴミ処理機について、漏電や感電などの危険性がないか調べてほしい。	苦情品は漏電や感電も含めて様々な面で安全性に疑問があり、一般消費者が使用することは好ましくないと考えられる。生ゴミ処理機は電気用品安全法では適用外の製品であるため、法的に販売を規制することはできない。
97	ゴミ箱	脱臭効果をうたうゴミ箱を使用したところ、異臭がし体調不良になった。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は、オゾンの脱臭効果を利用した商品であり、ゴミを苦情品から取り出す際に、周辺では数分間程度臭いや刺激を感じるほどのオゾン濃度に達する場合があった。しかし取扱説明書には、蓋を取り外す際などに、周辺に臭いを感じるほどのオゾンが出ること、そのようなオゾンに対する注意事項などの記載はみられなかった。また、蓋には紫外線ランプがむき出しになっていたため、電源を切らないで蓋を取り外すと、紫外線ランプを直視したり、触れてしまう可能性があった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
98	湿度計付き収納ケース	カメラのレンズを乾燥剤と湿度計が付いた収納ケースに保管したら、カビが生えた。収納ケースの性能に問題がないか調べてほしい。	苦情品は苦情同型品よりも気密性が低かったが、その理由については分からなかった。苦情品に乾燥剤を入れて収納ケース内の湿度の変化を調べたところ、湿度をある程度低く抑えたが、高湿度の環境下ではケースに侵入する外気により、湿度が徐々に上昇した。苦情品、苦情同型品付属の湿度計は個体間の差はあったものの、おおよその目安とはなるものであった。
99	突っ張り間仕切り	額縁に入った絵画を、天井と床に突っ張って設置する間仕切りに掛けて使用していた。使用説明書に記載の耐荷重や使用法を守り使用していたが、突の間仕切りが倒れて額縁のガラスが破損した。危険なので商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は、ジョイント部のネジの締めが不足していたために転倒したものと推察された。ただし、現行の締め付け方法では、どれくらい締め付ければよいかの具体的な目安がなく、力の弱い人など人によっては十分な締め付けができないことも考えられた。
100	灯油	購入した灯油を 2 台の石油ストーブに使用したところ、2 台とも火が弱くなり点火しなくなった。灯油の品質に問題がないか調べてほしい。	「JIS K2203 : 2009 灯油」に規定されている項目について苦情品の灯油を調べたところ、全ての項目で基準を満たしていた。また、苦情品から検出された水分もごく微量であることから、品質に問題はなかった。
101	灯油	3 台の石油ファンヒーターでエラー表示が出て、火がすぐ消える。使用した灯油の品質に問題がないか調べてほしい。	「JIS K2203 : 2009 灯油」に規定されている項目について苦情品の灯油を調べたところ、全ての項目で基準を満たしていた。また、苦情品から検出された水分もごく微量であることから、品質に問題はなかった。
102	灯油	石油ファンヒーターの故障は、灯油が原因と考えられる可能性があるので、使用していた灯油の品質に問題がないか調べてほしい。	「JIS K2203 : 2009 灯油」に規定されている項目について苦情品の灯油を調べたところ、全ての項目で基準を満たしていた。また、苦情品から検出された水分もごく微量であることから、品質に問題はなかった。
103	軽油	ガソリンスタンドで軽油を給油した直後から走らなくなった。燃料タンクに残った軽油の品質を調べてほしい。	苦情品は、保存のために入れられていた一斗缶の底部の錆等の沈殿物が混入しているものの、沈殿物を除けば「JIS K 2204 軽油」に定められた 2 号のグレードの要求品質を満たしていた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
104	アルカリ乾電池 (単1形)	懐中電灯に入れていたアルカリ乾電池が破裂し、その勢いで懐中電灯が壁にぶつかった。破裂した原因を調べてほしい。	苦情品は懐中電灯内部でショート状態となったため過大な電流が流れて異常発熱し、内部の圧力が上昇することにより、液漏れや膨張、破裂に至ったものと考えられる。なお、使用していた懐中電灯の乾電池接続用の+端子と-端子は、その形状から近接した位置にあったと考えられ、接続端子の緩みなどの異常が、連続または断続的にショートを引き起こした原因になったと推察される。
105	アルカリ乾電池 (単2形)	置時計のアルカリ乾電池(単2形)を取り換えたところ、電池と置時計が熱くなり、電池を入れる蓋の部分が少し融けているのに気づいた。原因を調べてほしい。	時計に乾電池を挿入する際、スプリング端子が曲がった状態で取り付けられたことによって、当初は正常に動作していたものの、その後、乾電池の外装ラベルが損傷し、ショートしたことにより、過大な電流が流れ、異常発熱し、時計の電池ボックスの変形に至ったものと考えられる。
106	オガ炭	オガ炭を自宅で使用中に一酸化炭素中毒になり入院した。注意書きがなかったので以前使用していた木炭と同様に使用した。木炭とオガ炭から出る一酸化炭素の量に違いがあるか調べてほしい。	苦情品(オガ炭)及び参考品(相談者が以前使用していた木炭)は燃焼に伴い高濃度の一酸化炭素を発生するため、室内で使用する際には十分な換気をする等の注意が必要である。苦情品と参考品を同体積程度使用した場合、苦情品は室内の一酸化炭素濃度が長時間にわたって高濃度に保たれる傾向があったが、どちらを使用した場合であっても、テストをした条件では一酸化炭素中毒を起こす濃度であった。また、苦情品には室内で使用する際はこまめに換気する等の注意表示がみられなかった。
107	和服	はっ水等の加工をした小紋の着物が仕立て上がってきたら、ごわごわして風合いが違う。端切れがあるので、同じ生地か調べてほしい。	反物の端切れについて、組織や密度、繊維の種類を比較したところ、いずれもほぼ同じであったことから、同質の生地である可能性が高かった。
108	紳士ズボン	2回目の着用でズボンの生地が破れた。生地の強度に問題がないか調べてほしい。	苦情品はたて方向に生地が引き裂けていた。よこ方向の引裂強さは「JIS L 4107」の基準を下回っており、生地に弱い部分や傷がある場合には、たて方向に引き裂きが起きやすくなると考えられた。苦情品はポケットの縫い止まりの縫製によって弱くなっている部分があり、損傷部の観察からもこの部分が起点となって引き裂きが進んだものと考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
109	紳士セーター	カシミア 70%シルク 30%の紳士セーターをネットオークションで落札したところ、ウール 90%カシミア 10%表示のセーターが届いた。商品を交換してもらったが、見た目も手触りも最初に届いた商品と同じであった。商品の組成表示が適正かどうか調べてほしい。	家庭用品品質表示法 繊維製品品質表示規程では、組成表示について、指定用語による繊維名と混用率を百分率で表示することとしている。苦情品の表示は「カシミア 70%、シルク 30%」であったが、テストの結果、「羊毛 100%」であり、家庭用品品質表示法 繊維製品品質表示規程に抵触するおそれが考えられた。
110	トレーニングウェア 上下	3回位の使用で、トレーニングウェアのシャツに引きつれや、パンツの前面に毛玉ができた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情同型品のピリング及びスナッグの等級は一般衣料品の JIS 規格の基準を満たしていたが、ザラザラした面で摩擦した場合、スナッグがややできやすい生地であることが分かった。苦情品及び苦情同型品には、糸が飛び出しやすい素材である旨、突起物には注意する旨の注意表示がなされていた。
111	ブラジャー	新品のブラジャーをつけたら胸が真っ赤に腫れた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品及び苦情同型品から皮膚刺激性、またはアレルギーの報告のある成分がいくつか検出された。アレルギーの原因物質の確認には、患者本人によるパッチテストが必要である。
112	ブラジャー	シリコン製のブラジャーを 1 時間着用したら肌が赤くなりかぶれた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情同型品は布製のブラジャーに比べ透湿度が低く、汗をかくと蒸れたりしてかぶれの原因となる場合があると考えられた。また、「通気性抜群」との表示は実態とはかけ離れており、問題があると考えられた。
113	腹巻	携帯用カイロを入れて使用する腹巻を購入し、使用したら低温やけどになった。低温やけどとなった原因を調べてほしい。	人体モデルによって測定された温度と、人が実際に使用したときの温度は異なると考えられるが、カイロと重なる個所では温度が上昇したことから、低温やけどとなった原因はポケットに入れたカイロの発熱によるものと考えられる。
114	運動靴	学校の階段で運動靴のソールが剥がれ転倒しそうになった。ソールが剥がれた原因を調べてほしい。	苦情品に使用されていた接着剤はウレタン系であり、苦情品は苦情同型品に比べ、接着剤の加水分解が起きていると考えられる黄変部が広く見られたことから、苦情品は加水分解による接着剤の劣化が進行していると推察された。これがソールの接着性の低下を引き起こし、剥がれの一因となったと考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
115	運動靴	保管していた運動靴のソールの一部が溶けて履けなくなった。溶けた原因を調べてほしい。	ミッドソールが水あめ状に溶けた原因は、エステル型のポリウレタン樹脂の加水分解の可能性が考えられた。エステル型のポリウレタンは、運動靴のミッドソールや接着剤にしばしば使用されるが、製造された後、エステル結合の加水分解が進行して、経年劣化を起こすため、未使用であってももろくなることが知られており、密閉した場所に長期間保存することで劣化が促進すると言われている。寿命はおおむね製造後 5 年程度とされているが、保存状態によってはさらに短くなる。
116	ウォーキングシューズ	購入後 2 カ月でウォーキングシューズの内側に穴が開いたため、靴擦れを起こすようになった。ウォーキングシューズに問題がないか調べてほしい。	苦情品及び苦情同型品のかかと部を X 線で調べた結果、異物等は確認されなかった。また、苦情同型品のかかと部について、分解して構成しているパーツを調べた結果、一般的なスポーツシューズの構成と相違はなく、構造や材質に、穴が開いた原因となる問題点は確認されなかった。
117	子ども靴	購入した子ども靴を履くと 4 歳の子どもがよく転倒するようになった。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は、靴底と床面との摩擦という観点からは、参考品よりもつまずきやすい、あるいは滑りやすいということは言えず、転倒の危険性が高いとは考えられなかったが、参考品に比べてつま先の反りが小さかったことから、すり足で前進する幼児が着用した場合には参考品よりもつまずく可能性が高いと考えられた。
118	雨靴（婦人用レインブーツ）	雨の日に新しい雨靴を履いて出かけたところ、マンションの共用通路で滑って転倒しけがをした。滑りやすさについて調べてほしい。	苦情品は床材によっては滑りやすく、特に、ビニル床でその傾向が強かった。また、かかとを先に着くような歩き方をした場合にはより滑りやすくなった。
119	雨靴（婦人用レインブーツ）	雨の日に新しい雨靴を履いて出かけたところ、マンションの共用通路で滑って転倒しけがをした。他の雨靴に比べて滑りやすいか調べてほしい。	苦情品のかかと底はつま先側の底より硬い材質で、濡れたビニル床を歩いた場合には、参考品に比べ滑りやすかった。また、床の材質にかかわらず、かかとを先に着くような歩き方をした場合にはより滑りやすかった。
120	長靴	新品のひざ下までのゴム製長靴を履いたら、右脚が赤く腫れた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品と苦情同型品で検出された主な成分に差はなく、皮膚刺激性、もしくはアレルギー性接触皮膚炎の報告のある成分が検出された。相談者は、内科専門医により苦情品を用いたパッチテストを受けており、その結果が陰性であったことから、皮膚障害の原因が長靴以外だった可能性も考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
121	紳士サンダル	雨の日にサンダルを履いて石段を歩いていたところ、滑って転倒した。滑りやすさを調べてほしい。	苦情品の底は著しく摩耗しており、溝がほとんどない状態であった。安全靴の JIS 規格に準じて耐滑性を調べたところ、苦情品の底は参考品に比べて滑りやすかったが、作業靴・安全靴の技術指針に当てはめると「体感的に耐滑性がやや感じられる」とされる程度の耐滑性であった。
122	かばん	ネットオークションで牛革が使われていると表示されていたかばんを購入したが、牛革ではなく合成皮革に見える。牛革か合成皮革か調べてほしい。	苦情同型品のポケット部（インターネット上に「本牛革」と表示されていた部分）に使われていた材料は、牛の銀付き革ではなく、床革にウレタン樹脂を塗布した材料であり、表示と異なっていた。なお、家庭用品品質表示法雑貨工業品品質表示規程では、かばんの表示項目として「皮革の種類」、「手入れ方法及び保存方法」、「表示者名等」が定められているが、苦情品及び苦情同型品の下げ札には「皮革の種類」と「表示者名等」が表示されていなかった。
123	ギターケース	ギターケースの肩ひものナスカンが外れたため、ギターケースが落下し、中のギターが破損した。ギターケースのナスカンに問題がないか調べてほしい。	苦情品のナスカンには外観上目立った異常は見られず、何らかの外力によってバネが爪から外れたと考えられるが、その原因は特定できなかった。苦情品は参考品と比較して横から押したときにバネが外れる力が小さかったことから、バネが横から押された場合には、爪から外れやすい商品であると考えられる。
124	折りたたみ傘（化粧品の景品）	化粧品の景品でもらった折りたたみ傘を閉じるときに上ハジキで親指をけがした。商品に問題はないか調べてほしい。	苦情品の上はじきの角の部分は参考品に比べ、やや鋭利な様子が確認されたものの、玩具安全基準を参考に上はじきの鋭利度を調べた結果、危険な鋭い縁部とは判定されなかった。
125	長傘（ジャンプ式）	約 2 カ月前に購入し、数回しか使用していないジャンプ式の長傘を開こうとボタンを押したときに、音とともに下ろくろが破損した。破損した原因を調べてほしい。	苦情品は、下ろくろに何らかの原因で傷が付き、開閉時の衝撃や、ばねの力により段階的に亀裂が進行し破断に至ったと考えられる。苦情同型品の下ろくろの強度には問題がなかったことから、苦情品単体に生じた問題と考えられる。なお、テストに使用した苦情同型品の中にも程度は軽いもの下ろくろに傷が付いたものが見られた。
126	作業用革手袋	作業用革手袋を使用したところ、皮膚障害を発生した。皮膚障害の原因となる物質が含まれていないか調べてほしい。	皮膚障害を引き起こす有害な物質である六価クロムとホルムアルデヒドなどを調べたが、苦情品による皮膚障害の原因となる物質はテストした限りでは見いだせなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
127	血圧計	血圧計の本体が熱で変形し、保存していた箱が焦げた。原因を調べてほしい。	血圧計の本体が熱で変形した原因は、血圧計が異常発熱したものではなく、保存していた段ボール箱が外部の何らかの熱源により焼損したため、収納されていた血圧計がその熱により変形したものと考えられた。
128	化粧品	化粧品の試供品を使用したら、肌が白くなった。ステロイドが入っていないか調べてほしい。	苦情品の洗顔料とパックについて、作用が強く、これまでに化粧品での検出事例のある成分を中心に、7種類のステロイドが含まれていないかを調べたが、いずれの成分も検出されなかった。
129	日焼け止め化粧品	日焼け止め化粧品を腕に塗り白いバッグを持ち出かけたところ、バッグの腕に接触した部分が変色した。日焼け止め化粧品でバッグが変色するか調べてほしい。	バッグに苦情品、苦情同型品を付着させたり、これらに汗や皮脂を混ぜたりした時に変色が起こるのかを調べたところ、バッグに変色は起こらなかった。苦情品が変色の原因である可能性は低いと考えられた。
130	化粧品（クレンジング）	洗い流し不要のクレンジングを1回使用したところ、顔に湿疹が出た。また、クレンジングの液が爪に触れて塗っていたマニキュアが剥がれた。原因を調べてほしい。	ISO に準拠して求めた皮膚の一次刺激性インデックスは、「無刺激性」と評価されるものであった。しかし、苦情品は pH7.8 とややアルカリ性であり、またいずれの成分も全ての人でアレルギーを起こさないというものではない。なお、苦情品が付着し拭き取った際に、マニキュアの表面光沢が失われることがあると考えられたが、色が溶出したり剥げ落ちたりすることは確認できなかった。
131	保湿クリーム	保湿クリームを使用したところ、肌の状態が改善された。ステロイドが含まれていないか調べてほしい。	苦情同型品について、作用が強く、これまでに化粧品での検出事例のある成分を中心に、7種類のステロイド成分が含まれていないかを調べたが、いずれの成分も検出されなかった。
132	ポンプ式のマッサージオイル	マッサージオイルが入った容器のポンプ式の吐出口からオイルが大量に漏れ出した。ポンプの容器に問題がないか調べてほしい。	苦情品は主に傾けたことにより内容物が漏れたと推察され、室温の変化も影響した可能性が考えられた。ただし、傾けても漏れるのは少量であることが多いと考えられ、例えばポンプディスペンサーの内部機構にある可動式のボール（一方向のみに液体を通す弁の役割をする）の位置などの条件によっては漏れが大量になることがあるものと推察される。
133	ボディソープ	2～3日使用したら手荒れがひどくなった。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品には問題と考えられるほどの皮膚への刺激性は認められなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
134	除光液	かばんに入れていたマニキュアの除光液が漏れた。漏れた原因を調べてほしい。	苦情品は、確実にキャップが閉まっていなかったために漏れが生じたものと推察された。なお、容器には、キャップの開閉に係る表示が、キャップの上部に「TO OPEN」、「PUSH DOWN & TURN」と表示されていたものの、確実に Child Resistant キャップの開閉が行える表示はなかった。
135	ヘアドライヤー	使用中のヘアドライヤーから金属片が飛び出しやけどした。原因を調べてほしい。	ヘアドライヤーの吸い込み口、あるいは、吹き出し口が閉塞されることで風量が低下して、ヒータが過熱されるのに伴って本体のハトメの温度がハンダ溶融温度に達し、同時に振動などが加わったために、溶融したハンダが外部に飛び出したものと考えられた。
136	ヘアドライヤー	1年半前に購入したヘアドライヤーの本体とコードが接続されている部分から発火し、火花で洗面台の鏡が焦げた。発火した原因を調べてほしい。	苦情品はコードがねじれた状態で使用したために導線が半断線してスパークが発生し、最終的にショートに至って発火したものと推測された。
137	電気バリカン	電気バリカンを使用中に刃のユニットが破損し、刃が飛んで頭皮に当たりけがをした。破損した原因を調べてほしい。	苦情品の刃は、破壊起点がツメの内側であることを勘案すると、お掃除レバーを引き上げる際に過大な負荷が加わってツメ内側に大きな亀裂が生じ、その後作動する振動により短時間で亀裂が進行して破断に至ったものと考えられる。
138	かみそり	まゆ・顔用の3本1組のかみそりを購入し、2本とも使い始めて皮膚を傷つけた。2本目は慎重に扱ったにも関わらず額を切った。危険なので商品に問題がないか調べてほしい。	額を切ったとされる苦情品は、刃先にごくわずかな凹凸があったものの、未使用時からあったものか、使用したことによる刃こぼれか不明であり、肌を傷つける原因となったかの特定はできなかった。
139	電気かみそり	半年前に購入した電気かみそりの刃が使用中に外れ危険であった。外れやすい商品かどうか調べてほしい。	網刃を引っ張ったり横方向の力を加えたときは、苦情品は1.0kgf程度の力で外れることがあり、参考品よりも外れやすかったが、通常の使用方法を想定したモニターテストの結果、使用中に網刃が外れることはなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
140	電動歯ブラシ	1年未満で電動歯ブラシのスイッチ部分が故障し、新品に交換してもらったが、1年半後にまた同じ部分が故障した。スイッチが故障した原因を調べてほしい。	苦情品はスイッチ部分が故障したのではなく、ハンドル内部に侵入した水滴によって、電気部品類の端子間が導通してしまったため、正常な制御ができなくなり、動作に異常が発生したものと考えられる。また、水滴については、使用過程で電源スイッチのゴムが一部裂け、湿度の高い浴室での使用や濡れた手でスイッチを操作したことにより、除々にハンドル内部に侵入したものと考えられる。
141	脱毛器	熱でひげを焼き切るという脱毛器を購入したが、使用するとやけどをする。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は通電したワイヤーが発熱し、当たった毛を焼き切るもので、使用時のワイヤーの温度は、最も弱いレベルで70℃を超えていた。また、使用の際に肌に当たるチップの先端からワイヤーまでの距離は、0.5~1mmと極めて近く、更に肌の柔らかい部分に押し当てると、ワイヤーが直接肌に触れることがあることから、やけどをするおそれがあった。
142	舌用清掃用品	初めて使用した舌用清掃用品が、舌の奥の有郭乳頭に引っかかり取れなくなった。危険なので商品に問題がないか調べてほしい。	苦情同型品のブラシ部は、細い繊維が生地に編み込まれており、繊維は不規則なループ状になっていた。ループの長さは平均8.7mmであり、有郭乳頭に限らず、その形状によっては他の乳頭にも繊維が引っかかり、取れなくなったり傷をつけてしまうおそれがあると考えられた。
143	サポーター	指圧効果をうたったサポーターを就寝時に両脚に付けていたら、部分的に化学やけどのような症状になった。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品から繊維由来と考えられる成分や、化粧品や医薬品に使用される成分が検出されたが、これらの成分は症状が現れていない部位からも検出された。このため相談者の症状は、苦情品に含まれる化学物質の接触によるものとは考え難く、別の要因によるものと考えられたが、原因の特定には至らなかった。
144	アリ用駆除剤	餌に誘引されてアリが容器に入るアリ用駆除剤をアリの行列のそばに置いてみたが、アリが入って行かなかった。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品のパッケージにはアリに対する誘引性に関して、アリがベイト剤（エサ）に誘引されて容器の中に入るとの記載があったため、日本全国に分布する2種類のアリ（クロヤマアリ、トビイロケアリ）を飢餓状態にして苦情同型品のベイト剤の誘引性を調べたところ、クロヤマアリでは多少の誘引性がみられたものの、トビイロケアリでは誘引性はほとんどみられなかった。アリの種類や状態により苦情品の効果は異なるものと考えられたが、苦情品のパッケージには、どのような種類や状態のアリにも効果があるかのような表示がされており、消費者を誤認させる可能性があった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
145	ソフトコンタクトレンズ用保存液	2カ月前から使い始めたソフトコンタクトレンズ用保存液で目やにが出たり目がかゆい感じが有り、保存液の容器の中を見たら黒い異物が付着していた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品の黒褐色の異物を調べたところカビであることが確認されたが、未開封の同型品では確認されなかった。一般細菌数は、いずれも、菌数判定範囲の最小値未満であった。苦情品のカビは、空気中のカビの胞子がフタを開けた際に容器の中に入ったり、カビの胞子が付着していた手等が容器の口に触れることにより内部に入り、増殖したものと考えられた。
146	ソフトコンタクト消毒剤の専用ケース	ソフトコンタクト消毒剤を購入し使用を始めたところ、付属の専用ケース内に黒い異物が発生した。異物が何か調べてほしい。	異物を調べたところ、死滅していたがカビの菌体であった。消毒液にカビは確認されなかったことから、空気中のカビの胞子が落下したり、カビの菌糸等が付着した手指が容器に触れることでカビがケースの中に入り増殖したことが考えられた。また、蓋内側の樹脂の周辺には不織布が使用されているため、水分が残りやすく、カビ等が増殖しやすい構造であると考えられた。
147	マスク	不織布のマスクを着けていたらノーズワイヤーが不織布を突き破って顔を傷つけた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は不織布の厚さや突刺抵抗性は参考品との著しい違いはなかったものの、ノーズワイヤーの両端部は鋭利な金属部分が露出しているものもあり、またノーズワイヤーの曲げ伸ばしを行うと先端の金属部分が不織布を突き破ることがあった。このとき、鋭利な金属部分が肌に当たることになるため、何らかの危害を及ぼすおそれがある。なお、裏表逆に使用した場合、正しい装着面より不織布が薄いため、ノーズワイヤーが不織布を突き破る可能性はより高まると考えられた。
148	マスク	竹酢液を染み込ませたシートを付けるマスクを使用したら、すぐに唇が腫れた。商品に問題がないか調べてほしい。	竹酢シート中に含まれていたフェノールやクレゾールの刺激により、唇が腫れた可能性も考えられたが、含まれていた量が微量であることや、化学物質に対する感受性には個人差が大きいため確定には至らなかった。また、今回の方法では確認できなかった成分によるアレルギー等の可能性も否定できない。
149	鉱石の浴用剤	高額な鉱石の浴用剤を購入した。表示成分について調べてほしい。	苦情品の鉱石から溶出するミネラル成分の濃度は、使用方法の2.7倍量を投入しても水道水の1/80~1/40と低く、医薬部外品で無機塩類を有効成分とする参考品と比べても極めて低い濃度であった。また、「鉱石の成分」として表示されている「炭酸水素カルシウム」、「炭酸水素マグネシウム」は、固体としては存在しないとされる物質であった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
150	タオル	水に濡らして使用するタオルで顔や首が赤く腫れた。問題がないか調べてほしい。	苦情同型品からは、ごくまれにアレルギー性接触皮膚炎が起こることが報告されている防カビ剤が検出されたことから、相談者に生じた症状は、防カビ剤によるアレルギー性接触皮膚炎の可能性が考えられた。この防カビ剤は化粧品や医薬部外品に使用された場合には表示する義務のある成分であった。
151	タオル	首や頭に巻く冷感タオルの効果が持続しない。効果の表示に問題がないか調べてほしい。	苦情品は冷却効果をうたっていたが、表面の温度は一般的なタオルと同程度であり、水分を含んだ状態で生地に強い振動を与えても表面温度の低下は観察されなかった。
152	タオル	水に濡らすと冷感効果が得られることをうたったタオルを初めて首に巻いて使用したところ、首や胸など触れた箇所が赤く腫れた。原因を調べてほしい。	未使用の苦情同型品及びそれをぬるま湯で10回繰り返し洗ったものから、アレルギー性接触皮膚炎の報告のある物質である防カビ剤の 2-n-オクチル-4-イソチアゾリン-3-オン (OIT) が検出された。一方、使用の前後に水洗いされた苦情品からは、OIT は検出されなかった。OIT は、苦情品のような雑貨品への使用に関する規定はないが、過去に家庭用品による重大製品事故の原因物質として厚生労働省から注意喚起がなされた成分である。原因の特定には、皮膚科専門医によるパッチテストが必要である。
153	タオル	水に濡らすと冷感効果が得られることをうたったタオルを何度か首に巻いて使用していたが、今回いつもより長く使用したところ、首回りに湿疹ができてきた。原因を調べてほしい。	苦情品及び苦情同型品からは、アレルギー性接触皮膚炎の報告のある物質である防カビ剤の 2-n-オクチル-4-イソチアゾリン-3-オン (OIT) が検出された。OIT は過去に家庭用品による重大製品事故の原因物質として厚生労働省から注意喚起がなされた成分である。原因の特定には、皮膚科専門医によるパッチテストが必要である。
154	タオル	水に濡らすと冷感効果が得られることをうたったタオルを使用したところ、普通のタオルと変わりがなく、効果が感じられない。表示広告等に問題がないか調べてほしい。	苦情同型品と一般的なタオル（参考品）を用いて、夏場を想定した環境下で冷たさの経時変化をモニターテストにより評価した。その結果、苦情同型品、参考品とも初めは冷たく感じられたが、時間の経過とともに冷たく感じる程度はモニター間に若干の差はあったが、双方低下し、今回の限定された条件下においては苦情同型品、参考品との間に大きな差はみられなかった。なお、取扱説明書や販売元のホームページを調べたところ、一般的なタオルと比較しての本商品の優位性に関する記述は見られなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
155	首用の冷感効果をうたった商品	子どもの首にかける冷感効果をうたった商品を使用したところ、締め付けられて痛い。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は平均的な2歳以上の子どもであれば広げて装着しなければならないほどサイズが小さく、締め付ける力も成人用より大きいと考えられたこと、苦情品のサイズは1種類しかなく首のサイズや対象年齢の記載もないこと、材質もサイズの大きい成人用と同質のものを用いていることなど問題があると考えられた。
156	大人用紙おむつ	大人用紙おむつを着用中に擦り傷ができた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情同型品は、同種のパンツタイプの参考品のおむつよりも接合部が比較的硬く、履いて接合部に圧力がかかった場合には痛く感じられたり、状況によっては傷などができる可能性もあるのではないかと考えられたが、おむつの接合部の硬さだけで擦り傷に至ったとまでは判断できなかった。
157	乳幼児用紙おむつ	乳幼児用紙おむつを1歳2カ月の男児に履かせて間もなく尿が漏れた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情内容の尿漏れは、男児が吸収体及び防水シートが存在しない位置に排尿したために、尿が不織布を透過して表面に漏れ出てきたものと考えられた。吸収体及び防水シートがない位置に排尿した原因としては、紙おむつの履かせ方や陰茎の向き、サイズ等が考えられる。
158	浴用岩石と岩塩	ラジウム温泉と同等になるとうたった浴用岩石と、一緒に使用する岩塩を購入した。成分と表示に問題がないか調べてほしい。	成分表にあるラジウムは苦情品のどちらからも確認できなかった。また、苦情品である岩石あるいは岩石と岩塩を使用しても風呂水のラドン濃度は0.05Bq/kg未満で、温泉法で定めるラドンの基準を大きく下回るものであった。さらに、商品説明書には放射能泉の効能効果が記載されており、苦情品にそのような効能効果があると誤認させる可能性が高く、薬事法に抵触するおそれがあると考えられた。
159	放射性岩石	放射性岩石を購入し居間に置いて使用している。岩石から出る放射線量を調べてほしい。	苦情品表面の空間放射線量を測定したところ、5種類の苦情品全てで、苦情品のない状態で測定したバックグラウンドと同程度のレベルであった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
160	放射線測定器	放射線測定器を購入し環境中の放射線量を測定したところ、数値が疑わしい。放射線測定器の誤差とばらつきを調べてほしい。	苦情品にセシウム 137 由来の γ 線を照射し、表示値を調べたところ、20%程度低い値を示したが、0.118 ~ 5.13 μ Sv/h の範囲では線量率に応じた測定値が得られた。また、取扱説明書にあるように3~5サイクル(約2分~3分半)以上電源を切らずに測定すると、表示値のばらつきは小さくなり安定していた。取扱説明書には食品の汚染を測定できる旨が記載されていたが、測定器の仕様の測定範囲では重篤な汚染がある場合を除き、食品中の暫定規制値やそれ以下の低レベルの放射性物質は検知できないと考えられた。
161	オゾン発生器	オゾン発生器でオゾン水を作ると強烈な臭いがする。発生しているオゾン濃度を調べてほしい。	苦情品を60分間継続して使用している室内では、日本空気清浄協会のオゾン濃度が室内ガスの許容濃度である平均0.05ppmを超えて高くなることがあり、不快感や鼻や咽頭への刺激、喘息の発作等にもつながるおそれがあると考えられた。また、高濃度のオゾンが発生するが、オゾンの濃度と危険性等についての記載はなかった。
162	冷却スプレー	脚に貼った湿布のずれ防止のためにストッキングを履いていた。その上から冷却スプレーを噴射したら火がつきやけどをした。冷却スプレーが静電気で引火することがあるか調べてほしい。	事故時の状況を想定して、ストッキングを巻いた2つの電極板の間に静電気を発生させ、この静電気に向かっていろいろな距離・方向から苦情同型品を噴射する再現テストを行ったが、噴射ガスは引火しなかった。
163	背筋ベルト	正しい姿勢を保つとうたった背筋ベルトを下着の上から着用したところ湿疹が現れた。商品に問題がないか調べてほしい。	揮発性成分及び溶媒抽出物を分析した結果、いくつかの皮膚刺激性、もしくはアレルギーの報告のある成分が検出された。なお、アレルギーの原因物質の確認には、患者本人によるパッチテストが必要である。
164	外付けDVDドライブ	外付けDVDドライブが起動中に、突然異常な音がして破裂し、DVDソフトの破片が飛び散った。危険なので原因を調べてほしい。	本体からディスクの破片が飛び散った原因は、①何らかの原因で破損した内部部品などが、回転中のディスクに衝突してディスクが破損した、あるいは、②ディスクに何らかの原因で損傷があり、ディスクが高回転になったことで損傷が急速に成長して破損したことが推定されたが、今回のテストでは原因を特定することはできなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
165	モバイル端末ケース	モバイル端末のケースに付属されたストラップを取り付けて使用したところ、ストラップの金具が破損し、モバイル端末が落下した。ストラップの金具が破損した原因を調べてほしい。また、材質が牛革に見えないので、表示に問題がないか調べてほしい。	苦情品の金具には、外周部以外に銅色の部分が存在し、下地の銅メッキが母材に侵入していたと伺えたことから、金具の製造過程（メッキを施す前）で既に亀裂が生じていたものと考えられた。また、苦情品には「牛革」と表示があったが、苦情品の材料には牛の銀付き革ではなく、床革にウレタン樹脂を塗布したものが使用されていた。
166	携帯電話	防水機能の付いた携帯電話が水濡れで故障した。故障の原因を調べてほしい。	液晶ユニットのガラスの接着が不完全であったために、水が筐体とガラス板の隙間から内部へと流入して、内部回路が損傷したものと考えられたが、接着の不完全が製造時からのものか使用過程で発生したものは判明しなかった。
167	携帯電話	携帯電話を棚から取り上げ使おうとしたら、付属のストラップ式ペンが振り子ようになり、左目にあたりけがをした。商品に問題がないか調べてほしい。	条件によっては、ペン先が目の付近に当たることを確認したが、市販の参考品においても同様であり、苦情品の形状や重さなど特に問題であるとは言えない。
168	携帯電話	携帯電話の通話ができなくなり、基板が壊れていることが分かったため、新しい機種を購入した。データは新しい携帯電話に移行することができたので、本当に故障しているか調べてほしい。	苦情品は基本的な機能には異常がみられず、故障は確認されなかった。ただし、電池パックの電源端子部に一時的に何らかの異物が付着したことによって電源がONできなかった可能性が考えられた。
169	携帯電話の充電器	3カ月の使用で携帯電話の充電器の電源コードに亀裂が入り、芯線が出てきた。危険なので原因を調べてほしい。	コードの被覆を比較すると、割れがあった苦情品と、割れがなかった苦情同型品とは組成に差があることが確認された。この組成の差は経年変化だけによるものではなく製造時からの違いと考えられ、組成の差が割れの発生に影響している可能性がある。ただし、苦情品の同ロット品が入手できなかったことから、原因の特定には至らなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
170	携帯電話の充電器	携帯電話用充電器の電源コードの被覆が剥がれて中の線がむき出しになった。危険なので原因を調べてほしい。	コードの被覆を比較すると、共に割れがあった苦情品1、2は、組成に差異はみられないが、割れがなかった苦情同型品とは差があることが確認された。この組成の差は経年変化だけによるものではなく製造時からの違いと考えられ、組成の差が割れの発生に影響している可能性がある。ただし、苦情品1、2の同ロット品が入手できなかったことから、原因の特定には至らなかった。
171	イヤホンマイク	購入したイヤホンマイクのR（右）側から音が聞こえないので、原因を調べてほしい。	R（右）側のイヤホンから音が出ていない原因は、イヤホン内部の断線と考えられる。通常、イヤホンの音を出す部分はコイルが内蔵され、そのコイルに電流を流して振動させ、その振動を音として再生させている。今回は、そのコイル相当の部分の配線に断線があり、音が聞こえなくなったと推測される。
172	雑誌の付録（ビニール製バッグ）	2歳の子どもが、雑誌についていた付録のビニール製バッグの角で、目の横を切った。バッグの角が鋭利かどうか調べてほしい。	苦情同型品は、シャープエッジテスターでは危険とは判定されなかった。ただし、参考品と比較すると角が鋭利であり、幼児の使用を想定したものであることから、参考品に比べて安全性の配慮が欠けていたと考えられる。
173	テレビ	震災で大型プラズマテレビの首が折れた。強度に問題がないか調べてほしい。	苦情品は、首振り機能で同調する部品（モーター部カバー）を固定するねじ及びねじ穴が地震の揺れに耐え切れず、ねじの折れや抜けが生じたものと考えられる。取扱説明書に記載されている転倒防止の据え付け方法は、消費者が市販の固定具を購入するものであり、苦情品はその方法で固定されていなかった。しかし、どのような固定具を使用して良いか取扱説明書からは分からず、強度のないものを使用してしまうことも想定される。
174	テレビ	昨年購入した液晶テレビから発煙した。原因を調べてほしい。	液晶テレビから発煙した痕跡は確認できなかったが、バックライトを点灯するインバーター基板の半導体素子が破損し、当該素子及びその周辺部が、通電により高温の状態が続いたために発煙に至ったと考えられた。
175	折りたたみ式テーブル・椅子セット	5歳児が折りたたんだテーブルにぶつかり、左足にけがをした。商品に問題がないか調べてほしい。	ぶつかった個所にはバリ及び鋭利な角が確認されたが、シャープエッジテスターによる調査では、そのエッジが著しく危険との判定はされなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
176	折りたたみ式テーブル・椅子セット	折りたたみ式テーブル・椅子セットを使用中に、椅子の脚が突然折れ、座っていた人が負傷した。強度に問題がないか調べてほしい。	苦情品は、破損形状から一度に大きな力が加わったと考えられ、再現テストの結果、水平方向に 350N 程度の力が加わったときに破損した。しかし、参考品も同程度の力が加わると破損していることから、参考品に比べて苦情品が著しく劣っているとは言い難い。
177	折りたたみ式テーブル・椅子セット	この商品は、各部にバリが多い上に、強度と安定性にも問題があると思われる。バリの危険性、テーブルと椅子の耐荷重や安定性を調べてほしい。	苦情品のバリは全体的にみられたものの、シャープエッジテスターでは、バリが危険との判定はされなかった。テーブル及び椅子の角への偏荷重試験の結果、椅子のたわみ量は、苦情同型品も参考品も同程度の値であったが、テーブルのたわみ量は、材質がプラスチックか、MDF（中密度繊維板）かで約 2 倍程度の差が生じていた。なお、苦情品には、偏荷重に関する注意や組立方法など、参考品と比較すると取り扱いに関する記載が少なかった。
178	ラケット	卓球ラケットが数日使用した後、使用中に半分に折れ飛んで行った。再度同種のラケットを別の店で購入したが、数日使用した後また同様に半分に折れた。ラケットの破損原因・強度について調べてほしい。	苦情同型品を用いて強度を調べた結果、形状や合板枚数などの仕様や価格が同等の参考品 2 銘柄に比べ、破損に至る静的荷重は小さかったものの、卓球ボールを打つ使用には十分な強度を有しており、落下試験でも破損することはなかった。苦情品には、ブレード側面に何かに接触したような凹みや欠けがあったため、落下試験以上の強い衝撃によって破損した可能性が考えられる。
179	フラフープ	組み立て式フラフープを 4～5 回利用したら、パーツが分解して飛び散った。危険なので分解した原因を調べてほしい。	苦情品は接続部の構造に問題があり、組み立てや分解を行うと、固定ピンの周囲が変形するため接続部が外れやすくなり、重量もあるため、使用中に加わる遠心力に耐えられず分解することが分かった。なお、苦情品の接続部に見られた破損は、分解して周囲に飛んだ際に、壁や床等にぶつかり、破損したと考えられる。
180	登山靴	登山中に登山靴の左靴ひもが、右靴ひものフックに引っかかり転倒しそうになった。危険なので、フックの形状等に問題がないか調べてほしい。	苦情品は、故意に靴ひもの蝶結びのループを大きくして、内股で左右の足の内側を擦り合わせるような歩き方をしないと、靴ひもがフックに引っ掛かることはなく、苦情品のフックに問題があったとは言えない。
181	テント	初めて使用したテントで雨漏りがした。高山で使用されるものであり危険なので、テントの防水性に問題がないか調べてほしい。	登山用テントを対象とした公的基準がないことから、キャンプ用テントの SG 基準により試験を行った結果、防水性能が低いと考えられ、雨天時の使用にあっては雨漏りするおそれがある。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
182	健康器具	腹筋を鍛える健康器具を使用中に、顔面を床にぶつけ口の中や唇を切った。商品に問題がないか調べてほしい。	使用条件によってはローラーがついた本体がスタートした位置よりも膝側に移動する可能性があり、事故は、本体を元の位置に戻す際に、四つんばいで体を支えていた腕が本体と共に膝側に近づきすぎたことで、上半身が前方に傾いて転倒したために起こったと推察された。しかし、注意表示には、本体が自然に戻ってくることや、戻りすぎに対する項目がなかった。
183	腕時計	登山中に腕時計のバンドアタッチメント部分のピンが穴から飛び出し身体と装備品が傷ついた。商品に問題がないか調べてほしい。	バンドピンがピン穴から飛び出した原因は、バンドピースと本体の間に汗などの液体が入り込むことで、ステンレス製のバンドピンとアルミニウム製のバンドピースが接触している部分で異種金属接触腐食が生じ、アルミニウム製のバンドピースのピン穴の周辺が優先的に腐食され、バンドピースの強度が低下したためと考えられる。また、バンドピースと本体の間に汗などの液体が入ってしまうと、取扱説明書に従った手入れだけでは除去できず、腐食を生じやすい構造であった。
184	ラジコンヘリコプター	1 回目の使用でラジコンヘリコプターが落下したため、ギアに問題がないか調べてほしい。	苦情品はメインギアの変形、歯の欠落によってメインギアの動作が通常に比べて不安定になる可能性が考えられた。しかし、苦情同型品を同様の状態で飛行させた結果、動作に特に異常は確認されなかったことから、メインギアの損傷がヘリコプター本体の落下の原因とは特定できなかった。また、メインギアの損傷がどの段階で発生したのかも特定できなかった。
185	ゲーム機器	ゲーム機の電源を入れても作動しなくなった。原因を調べてほしい。	苦情品が作動しなくなった原因はメイン基板にあると考えられたが、メイン基板内の不具合箇所の特定には至らなかった。
186	ゲーム機器	ゲーム機器のヒンジが割れたため修理した。1年後に再度同じ箇所が破損した。ヒンジの強度に問題がないか調べてほしい。	苦情品はロック機構が作動したときに、破損部に力が集中する構造であったが、苦情同型品(新品)による開閉試験では、ヒンジ部の強度に問題は見られなかった。破損原因は、経年劣化や衝撃等により樹脂に微細な亀裂が生じ、開閉を繰り返すうちに力が集中する部分で亀裂が進展したものと考えられる。なお、後継機種ではこうした力が集中する箇所の構造が変更されていた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
187	風船	ハート形風船を口で膨らませたら、破裂して右目に当たり出血した。商品に問題がないか調べてほしい。	風船は過剰な空気を充填すれば破裂する。ハート形風船は先端付近を起点として破裂し、破裂した風船や破片が膨らませていた者の顔面に当たることが多く、特に目に当たる可能性が高いことが確認された。また、苦情品には膨らませた風船の大きさの目安や、膨らませすぎに関する注意表示等はみられなかった。
188	ビーズ	水を吸収すると膨らむビーズを子どもが耳に入れてしまい、ビーズが耳の中で膨張したため、手術で取り出した。危険なので商品に問題がないか調べてほしい。	苦情同型品は水を急速に吸収し、周囲の形状に沿って膨張する商品で、細長く複雑な形状をした外耳道内で膨張した場合には、取り出そうとすると容易に崩れてしまい、取り出せなくなるおそれがあると考えられた。また、ST 基準の膨張材料の規定から外れていることから、子どもが玩具として使用した場合、安全性に問題があると考えられた。
189	玩具菓子	ラムネ菓子が出てくる玩具で遊んでいたところ、5歳児がラムネ菓子の入ったカップごと飲み込んでしまった。商品に問題はないか調べてほしい。	商品に使用上の注意はみられたが、苦情品はカップの誤飲や、ラムネ菓子が誤って気管に入ってしまう可能性のある商品であった。
190	外作業用の椅子	除草用に車輪付きの椅子を購入した。背もたれにもたれると後ろに反り転倒した。危険なので商品に問題ないか調べてほしい。	使用上の注意に関する記載の有無は確認できず、相談者が背もたれという部位に体重をかけた場合は、今回の事故と同様に転倒する可能性は十分に想定される。
191	携帯型の充電器	携帯型の充電器に USB ケーブルを接続し、それに AC アダプターを接続してコンセントにつなげたところ、充電器が発火し横においていたものに燃え移った。発火した原因を調べてほしい。	申し出の接続は誤接続であるが、再現テストでは現象は再現せず、機能にも異常が認められなかったことから、発火原因の特定には至らなかった。 しかし、誤接続の状況によっては充電器本体内部の回路及び充電池に異常な負荷がかかり、大きく発火し火災に至る危険があった。また、誤って付属の USB ケーブルと AC アダプターがそれぞれ接続できる形状であったことや添付の取扱説明書が英語表記であったこと、さらに電気用品安全法に基づく表示の不備などが認められた。
192	ペットフード	飼い犬にいつも与えているものとは違うペットフードを食べさせたところ、翌日に死んでしまった。嘔吐や下血の跡があったため、ペットフードに問題がないか調べてほしい。	苦情品の急性毒性を調べたところ安全性に問題はなく、また、カビ毒、食中毒菌及びその毒素についても調べたが、調べた限りではいずれも愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律の基準以下あるいは検出されず、犬の死因となるような問題は認められなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
193	水槽用ヒーター	水槽用ヒーターを使用したところ、設定温度より水温が上昇した。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は内蔵されたサーモスタットの作動不良により水温が上昇したものと推察されたが、作動不良の原因は不明であった。
194	じょうろ	除草剤が入ったじょうろの取っ手が外れ、除草剤でやけどした。じょうろに問題がないか調べてほしい。	本体側の取っ手取り付け部が内側に折れ曲がっていたため、取っ手取り付け部が正常にはまっておらず、じょうろを持ち上げた際の力で完全に外れ、除草剤が足にかかったものと考えられた。本体側の取っ手取り付け部が内側に折れ曲がっていたのは、取っ手を取り付ける際に不適切な方向に力を加えたためと推測される。
195	園芸用殺菌殺虫剤	園芸用殺菌殺虫剤を購入し、鞆に入れて持ち帰ったところ、本体とスプレーの結合部分が緩み、殺虫剤の液が鞆の中で漏れた。本体とスプレーの固定に問題がないか調べてほしい。	苦情同型品にて、フィルムパッケージをしたままでも外力を加えるとキャップが緩むこと、さらにキャップが一定以上緩んでいると液漏れすることが確認された。しかし、フィルムパッケージをしたままキャップ部分を緩めるトルクは特別低い値ではないため、本体とスプレーの固定に問題があるとは言えない。
196	簡易ガスライター	簡易ガスライターで火をつけようとしたところ、電気が走ったように指がしびれた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は、ライターの風防に指が触れている状態で点火すると、数回に1回の割合で感電することがわかった。苦情品は初期の成形不良や、保管時・流通時などでの何らかの外力・衝撃によってガス口などに変形が生じ、放電口とガス口間の距離が苦情同型品よりも長くなってしまっていると考えられる。そのため、本来は放電口からガス口に向かって放電する電気の一部が風防などにも流れやすくなってしまい、感電が起こっていると考えられる。
197	簡易ガスライター	ズボンのポケットにたばこと簡易ガスライターを入れていたら、突然熱さを感じ、ポケット左下に穴が開き、ライターの着火部分のプラスチックが熱で溶解していた。原因を調べてほしい。	苦情同型品については、テストした範囲内でSG基準を満たし問題ないことがわかった。今回の事故は、ポケット内での苦情品の残り火（消火操作後にも火炎が残ること）で起こった可能性も否定できないが、苦情品は原形を保持しておらず、事故時のポケット内での動作状況等も不明なため、事故原因を特定することはできなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
198	電子タバコ	電子タバコを購入して初めて充電したところ、充電器から発煙した。発煙の原因を調べてほしい。	苦情品は、充電器の回路基板上のセラミックコンデンサの接続端子間に付着物があり、さらに一部損傷のある状態で取り付けられていたため、正常に機能しない状態であったと考えられる。このため、抵抗に高い電圧が連続で加えられる状態となって異常過熱し、発煙に至ったものと考えられる。なお、事故は初めての使用で発生していることから、初期不良があったものと考えられる。
199	軽自動車	軽自動車で行き中にタイヤが外れ危険であった。原因を調べてほしい。	苦情品のタイヤが外れた原因は、ゴムブーツとボールスタッドのすき間から侵入した水分等により、腐食したことで摩耗し、ロアアームのボールジョイントが脱落したことが原因と考えられる。
200	軽自動車	軽自動車の方向指示器が故障し、右折時に危険な目に遭った。方向指示器のプラスチック部分が摩耗しやすいか調べてほしい。	外観上は、プラスチック部分の摩耗については確認できなかった。また、苦情品と苦情同型品では方向指示器の内部の部品に違いが見られたが、苦情品を同型車両に取り付けて走行テストを繰り返した結果、苦情状況が再現せず、苦情品の方向指示器に問題点はなかった。
201	軽自動車（燃料タンク）	軽自動車の燃料タンクからガソリンが漏れた。原因を調べてほしい。	燃料タンクの材質には一般的であるターンめっき鋼板が用いられていた。穴が開いた原因は、底に水が溜まったためにすきま腐食が発生・進行して、めっき層が先に錆びきり、次いで鋼板が錆びたためであると推察される。
202	自動車	アクセルペダルが5年前に折れて修理したが、また走行中に折れた。折損の原因を調べてほしい。	苦情品は長期にわたる踏み込み操作により、繰り返しの応力が苦情品の折れ曲がる部分に発生し、破壊が起こり、徐々に引きちぎられ折損したと考えられる。しかし、苦情同型品の踏み込み耐久性試験を50万回行ったものの、苦情同型品が折損することはなかった。
203	自動車	自動車のエンジンをかけたところ大きな音とともにエンジン部分から発煙した。原因を調べてほしい。	停車中に何らかの理由で吸気部品の内部に漏れた燃料が蒸発してガソリンの蒸気が充満し、エンジンを始動した際に少量の燃焼ガスから引火して、爆発に至ったものと推測された。
204	自動車用タイヤ	2年前に購入した自動車用タイヤ4本中2本の外側に亀裂が入ったので、原因を調べてほしい。	タイヤの外側では一部分のみに大きなひびが見られたことから、紫外線等による劣化は少ないと考えられた。苦情品は適合範囲外のリム幅のホイールで使用されていたために、走行中に大きな負担がかかった可能性や、空気圧過多が何らかの影響を及ぼした可能性も考えられるが、原因の特定はできなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
205	キャンピングカーのタイヤ	3年前に購入したキャンピングカーのタイヤが高速道路を走行中にバーストし、車両が全損になった。タイヤに問題がないか調べてほしい。	タイヤ自体の品質に問題は見当たらなかった。バーストした原因はタイヤの最大荷重を超える過荷重の状態で使用していたためと考えられ、新車時に装着されていたタイヤの負荷能力が当該キャンピングカーに対して不足していたと考えられる。
206	オートバイ（三輪）	三輪で安定性があるというオートバイを運転中に後輪のブレーキが効かず、左にスリップし縁石に触れ横転。右足を開放骨折した。構造に問題がないか調べてほしい。	後輪のみによる常温時制動試験では問題なかった。一方、オートバイとは異なり体が遠心力で外側に振られることから、速度を減速した状態で旋回をしないと、体勢を崩して車両をコントロールできなくなり、横転する可能性があった。初心者が乗車する際には、走行特性などを理解するとともに安全な環境での練習が必要である。
207	オートバイのシート	3年前に購入したオートバイのシートが劣化し衣類に色移りした。劣化した原因を調べてほしい。	苦情品は塩化ビニル樹脂製のシートカバーで、表面のべたついていた成分を調べたところ、可塑剤とその分解物と考えられる成分などが検出されたことから、可塑剤及びその加水分解により生じた成分が染み出し、べたつき、色移りを起こしたと考えられた。
208	電動スクーター	電動スクーターで下り坂を走行中に、アクセルが全開のまま戻らなくなり転倒し重傷を負った。アクセルが戻らなくなった原因を調べてほしい。	苦情品が送られてきた状態では、アクセルやブレーキの作動に、特に問題はなかった。しかし、細部の調査の結果、アクセル内部の弦巻バネは正常に組み込まれておらず、転倒時にはグリップがずれていたことが考えられ、走行中にグリップがずれていると、アクセル操作を行わなくても駆動用モーターに動力が伝わるということが分かった。ただし、ブレーキレバーを握ると動力は切れブレーキが利くことから、事故の原因を特定することはできなかった。
209	バッテリー	自動車のエンジンを掛けた途端にバッテリーが破裂した。破裂した原因を調べてほしい。	バッテリーが破裂した原因は、内部の電解液が液減りした状態であったことにより、負極接続体及び負極板耳部が空气中に露出することで腐食が進行し、肉細りになった負極板耳部がエンジン始動時の大電流（セルモータ作動）で溶断すると同時にスパークが発生して、内部に停留していた水素ガスに引火し爆発したと考えられた。
210	自動車用ガラスクリーナー	自動車用ガラスクリーナーを初めて使用したところ、自動車のガラスに小さな傷がたくさん入った。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品及び苦情同型品を使用すると車のフロントガラスに傷がつくことが確認された。苦情品に含まれる粒子の硬さを調べたところ、参考品2 銘柄に含まれる粒子に比べて硬く、そのことがフロントガラスに傷を生じさせた原因であると考えられる。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
211	スプレー缶塗料	1年ほど前に購入し、下駄箱に保管していたスプレー缶塗料が液漏れし、下駄箱の内部や靴が汚れた。液漏れした原因を調べてほしい。	苦情品（自動車補修用スプレー缶塗料）は缶底部と缶胴部の接合部分付近に生じた小さな穴から液漏れしていたが、穴は外傷など外側面からのものでなく、容器の内側面から腐食が進行し発生したものと考えられた。
212	ブレーキオイル交換用具	ブレーキオイル交換のために専用の用具を購入し使用したところ、車にオイルが飛び散り、塗装が浮いてしみになった。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は販売時から透明ホースのバルブ側がバンドで固定されていなかったため、ブレーキオイル交換時にブレーキオイルの圧力に耐えられず、透明ホースとバルブが分断され、廃油が周囲に飛散したものと推測された。
213	自動車用バックカメラ	自動車用バックカメラを自分で取り付けて走行していたところ、カメラから発煙した。原因を調べてほしい。	苦情品は、配線結束部内の電源線を留めているはんだが両極で近接していたため、両極間に電流が流れるようになり、その後ショートし大電流が流れたことによりはんだが溶け、その熱で樹脂が溶け発煙したものと考えられる。また、電源線の根元の被覆が熱により溶けており、これは屈曲などにより芯線がほつれて半断線状態となり、その箇所が局部的に発熱したためと考えられるが、どちらが先に起きたかは不明である。
214	カーナビゲーション	使用中のカーナビの液晶画面が突然フレームごと外れ、内蔵されていたリチウム電池が膨張していた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は、長期間、高温下に置かれていたことにより、リチウム電池の電解液分解によるガスの発生等により内部圧力が上昇し、膨張したものと推察された。ポータブルカーナビは車両に着脱できるものの、装着したままという場合も十分に想定されるが、取扱説明書及び外装箱の表示を調べたところ、駐車中は取り外して保管するなどといった内容は特になかった。
215	自動車用緊急脱出ハンマー	乗車中の事故や災害時にウインドーガラスを破壊し、自動車から緊急脱出するために使用する自動車用緊急脱出ハンマーを使ってみたところ、ウインドーガラスが割れなかったという相談があったので、自動車用緊急脱出ハンマーの性能について調べてほしい。	苦情品はウインドーガラスを割ることができず、金属ヘッド先端部が2カ所とも潰れてくることがわかった。また、潰れている面の中央箇所の硬さ（HV）は、苦情同型品の金属ヘッド先端部に比べて著しく低い数値であった。これらのことから、苦情品は製造段階の焼き入れや焼き戻しなどの熱処理が不十分で、ウインドーガラスを割るだけの硬さを有していなかったと考えられる。